

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（1998年7月31日設定）	
運用方針	ファミリーファンド方式により、高水準かつ安定的なインカム・ゲインの確保とともに信託財産の成長をはかることを目的として運用を行います。	
主要運用対象	ベビーファンド	ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券
	マザーファンド	EU加盟国の信用度の高い（A格以上）公社債
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・EU加盟諸国の信用度の高い公社債に投資を行います。</li> <li>・ソブリン債券を中心とした公社債からの長期的に安定した利子収入の確保とともに、信託財産の成長を目指します。</li> </ul>	
主な組入制限	ベビーファンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マザーファンドへの投資は、制限を設けません。</li> <li>・外貨建資産への実質投資は、制限を設けません。</li> </ul>
	マザーファンド	外貨建資産への投資は、制限を設けません。
分配方針	毎年1, 3, 5, 7, 9, 11月の5日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準・市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。  
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。  
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 運用報告書（全体版）

### ユーロ・ソブリン・オープン



第119期（決算日：2018年7月5日）  
 第120期（決算日：2018年9月5日）  
 第121期（決算日：2018年11月5日）



#### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
 さて、お手持ちの「ユーロ・ソブリン・オープン」は、去る11月5日に第121期の決算を行いましたので、法令に基づいて第119期～第121期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



### 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用フリーダイヤル **0120-151034**  
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

## 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○最近15期の運用実績

決算期	基準価額			FTSE 欧州世界国債 インデックス (円ベース)		債券 組入比率	債券 先物比率	純資産 総額	
	(分配落)	税 分	込 配	み 金	期 騰				中 落
	円		円		%	%	%	百万円	
107期(2016年7月5日)	6,402		50		△5.1	584.22	△4.2	97.1	1,686
108期(2016年9月5日)	6,495		50		2.2	597.34	2.2	96.9	1,708
109期(2016年11月7日)	6,224		50		△3.4	571.88	△4.3	96.7	1,610
110期(2017年1月5日)	6,491		50		5.1	607.19	6.2	97.0	1,664
111期(2017年3月6日)	6,314		50		△2.0	594.55	△2.1	96.4	1,612
112期(2017年5月8日)	6,448		50		2.9	612.50	3.0	97.4	1,631
113期(2017年7月5日)	6,570		50		2.7	631.96	3.2	97.6	1,619
114期(2017年9月5日)	6,669		50		2.3	645.17	2.1	97.6	1,630
115期(2017年11月6日)	6,734		50		1.7	661.53	2.5	96.9	1,611
116期(2018年1月5日)	6,854		50		2.5	676.29	2.2	97.6	1,624
117期(2018年3月5日)	6,438		50		△5.3	642.91	△4.9	97.2	1,525
118期(2018年5月7日)	6,421		50		0.5	651.77	1.4	96.8	1,518
119期(2018年7月5日)	6,311		50		△0.9	644.39	△1.1	97.3	1,482
120期(2018年9月5日)	6,218		50		△0.7	637.27	△1.1	97.1	1,451
121期(2018年11月5日)	6,135		50		△0.5	636.17	△0.2	96.6	1,427

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) FTSE 欧州世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、欧州主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額比率で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		F T S E 欧州世界国債 インデックス (円ベース)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落 率	騰 落 率				
第119期	(期 首) 2018年5月7日	円 6,421	% —	651.77	% —	% 96.8	% —
	5月末	6,239	△2.8	626.70	△3.8	97.3	—
	6月末	6,297	△1.9	636.53	△2.3	97.2	—
	(期 末) 2018年7月5日	6,361	△0.9	644.39	△1.1	97.3	—
第120期	(期 首) 2018年7月5日	6,311	—	644.39	—	97.3	—
	7月末	6,314	0.0	645.27	0.1	97.2	—
	8月末	6,288	△0.4	642.22	△0.3	96.4	—
	(期 末) 2018年9月5日	6,268	△0.7	637.27	△1.1	97.1	—
第121期	(期 首) 2018年9月5日	6,218	—	637.27	—	97.1	—
	9月末	6,315	1.6	653.52	2.5	97.5	—
	10月末	6,167	△0.8	632.60	△0.7	96.8	—
	(期 末) 2018年11月5日	6,185	△0.5	636.17	△0.2	96.6	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

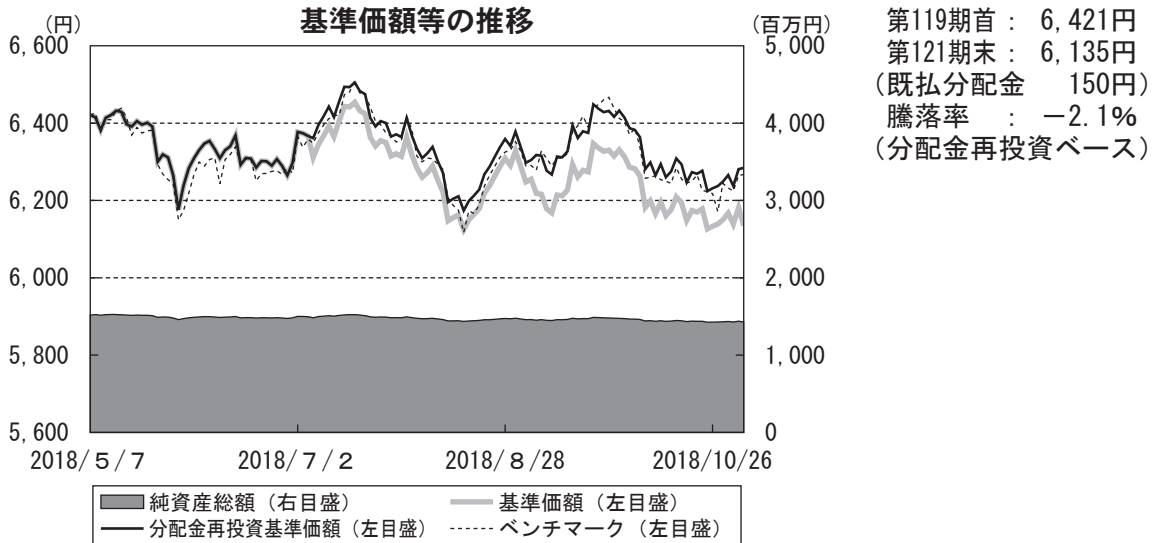
(注) 当ファンドは親投資信託を組み合わせるので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## 運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について (第119期～第121期：2018/5/8～2018/11/5)

基準価額の動き	基準価額は当作成期首に比べ2.1% (分配金再投資ベース) の下落となりました。
ベンチマークとの差異	ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率 (-2.4%) を0.3% 上回りました。



・分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。



実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

## 基準価額の主な変動要因

上昇要因	債券の利子収入を享受したことが、基準価額の上昇要因となりました。
下落要因	ユーロや英ポンドが対円で下落したことや、スペインの金利が上昇したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

## 投資環境について

(第119期～第121期：2018/5/8～2018/11/5)



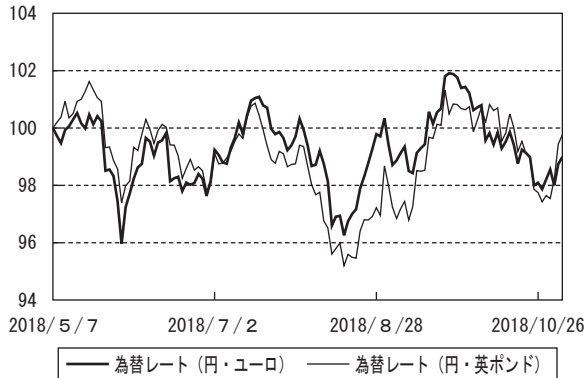
(注) 現地日付ベースで記載しております。

## ◎欧州債券市況

- ・ドイツやイギリスの長期金利は低下しました。

ドイツやイギリスの長期金利は、2018年5月に、イタリアで政局不安が高まったことを受けて低下しました。その後、8月中旬にかけては、8月上旬にイングランド銀行（BOE）が利上げを実施したものの、ドイツやイギリスの長期金利は概ねもみ合いで推移しましたが、8月下旬以降、発表されたドイツの景況感指数が市場予想を上回ったことや、欧米間の貿易摩擦への懸念の後退を受けたドイツ等の企業センチメントの回復などを背景に、ドイツやイギリスの長期金利は上昇に転じました。10月以降は、米中貿易摩擦懸念等を背景にグローバルに株式市場が下落したことや、欧州の景況感指数が市場予想を下回る内容であったことなどを背景に、ドイツやイギリスの長期金利は低下に転じ、作成期を通じてみると、ドイツやイギリスの長期金利は低下しました。

### 為替市況の推移 (当作成期首を100として指数化)



#### ◎為替市況

・ユーロや英ポンドは対円で下落しました。

ユーロや英ポンドは、2018年5月に、イタリアの政局不安を受けて、対円で下落しました。6月から7月にかけては、欧州中央銀行（ECB）高官が、インフレの上昇に対して自信を示したことや、米中間の通商問題が一層悪化するとの懸念が後退したことなどを背景に、ユーロや英ポンドは対円で上昇したものの、8月には、トルコ金融市場の混乱等を背景に、ユーロや英ポンドは対円で下落しました。その後、新興国市場などのリスクセンチメントの改善などを受けて、ユーロや英ポンドは対円で上昇する局面もあったものの、10月には、グローバルな株式市場の下落による投資家のリスクセンチメント悪化などを受けて、ユーロや英ポンドは対円で下落に転じ、結果、作成期を通じてみると、ユーロや英ポンドは対円で下落しました。

### 当該投資信託のポートフォリオについて

**i** 期間中にどのような運用をしたかを確認できます。

#### <ユーロ・ソブリン・オープン>

・ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保ちました。

#### <ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド>

基準価額は当作成期首に比べ1.6%の下落となりました。

・欧州連合（EU）加盟国の国債・政府保証債、事業債等、信用度の高い公社債（A格以上）を主要投資対象とし、これらの債券を高位に組み入れて運用を行いました。

◎国別資産配分

- ・作成期を通じて、相対的に高い金利水準にあると判断したポーランドをベンチマーク比オーバーウェイトとした一方、ドイツなどを同アンダーウェイトで維持しました。
- ・また、2018年5月下旬には、イタリアの政局不安を受けて質への逃避が強まるものと判断し、スウェーデンを同中立からオーバーウェイトに変更した一方、スペインを同オーバーウェイトから中立に変更しました。その後、イタリアの政局への過度な懸念が後退したと判断し、7月にスペインを同中立からオーバーウェイトに変更した一方、スウェーデンを同オーバーウェイトから中立に変更しました。

◎デュレーション（金利感応度）

- ・ファンド全体のデュレーションは、作成期を通じてベンチマーク比中立としました。

※デュレーション

「金利変動に対する債券価格の変動性」を示すもので、債券はデュレーションが大きいほど、金利変動に対する価格の変動が大きくなる傾向があります。

◎為替取引

- ・作成期首は、イギリスのEUからの強硬離脱に対する懸念が和らいだことなどを背景に、3.9%程度の英ポンド買い、1.7%程度のユーロ買いとした一方、5.6%程度のポーランドズロチ売りとなりました。
- ・作成期末は、景気の底堅い推移が見込まれることなどから、4.1%程度のユーロ及び0.7%程度のノルウェークローネ買い、EU離脱を巡る不透明感などから1.0%程度の英ポンド売り、3.9%程度のポーランドズロチ売りとなりました。

◎信用格付

- ・信用度の高いA格以上の公社債を主要投資対象としています。

- ・前記の運用を行った結果、債券の利子収入を享受したことなどはプラスに寄与したものの、ユーロや英ポンドが対円で下落したことや、スペインの金利が上昇したことなどがマイナスに影響し、基準価額は下落しました。

（ご参考）

ポートフォリオの状況

作成期首（2018年5月7日）

	マザーファンド	ベンチマーク
平均終利	0.89%	—
平均直利	1.88%	—
デュレーション	8.5	8.2

作成期末（2018年11月5日）

	マザーファンド	ベンチマーク
平均終利	0.84%	—
平均直利	1.94%	—
デュレーション	8.5	8.3

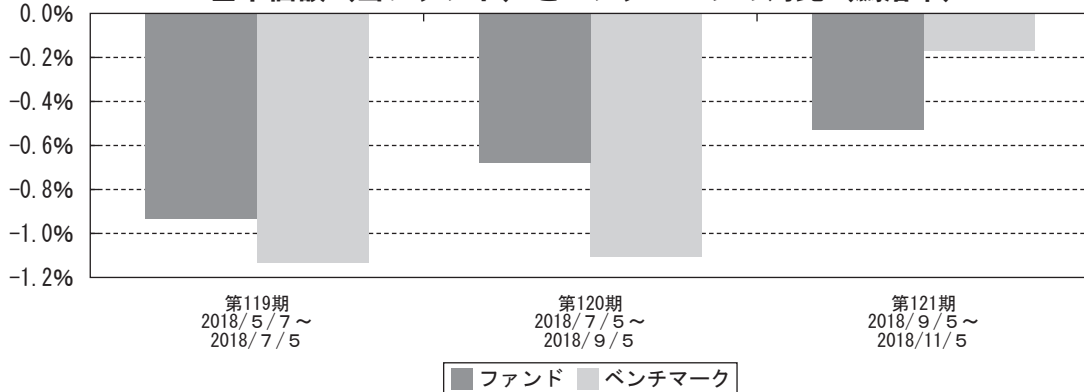
・平均終利（複利最終利回り）とは、償還日までの利子とその再投資収益および償還差損益も考慮した利回り（年率）をいいます。

・平均直利（直接利回り）とは、利子収入部分にのみ着目した利回り。債券価格に対する利子の割合（年率）をいいます。

当該投資信託のベンチマークとの差異について（第119期～第121期：2018/5/8～2018/11/5）

**i** ベンチマークまたは参考指数と比較することで、期間中の運用内容を評価することができます。

### 基準価額（当ファンド）とベンチマークの対比（騰落率）



・ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

#### <ユーロ・ソブリン・オープン>

- ・基準価額は当作成期首に比べ、2.1%（分配金再投資ベース）の下落となり、ベンチマークであるFTSE欧州世界国債インデックス（円ベース）の騰落率（-2.4%）を0.3%上回りました。

#### <ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド>

- ・基準価額は当作成期首に比べ、1.6%の下落となり、ベンチマークであるFTSE欧州世界国債インデックス（円ベース）の騰落率（-2.4%）を0.8%上回りました。
- ・作成期を通じてイタリア国債のドイツ国債に対する金利スプレッド（利回り格差）が拡大したなか、作成期を通じてイタリアを非保有としたことなどがプラスに寄与しました。
- ・2018年5月に、スペイン国債のドイツ国債に対する金利スプレッドが拡大したなか、スペインをベンチマーク比オーバーウェイトとしていたことなどがマイナスに影響しました。



## 分配金について

**i** 分配金の内訳および翌期繰越分配対象額（翌期に繰越す分配原資）がどの程度あるかを確認できます。

収益分配金につきましては、基準価額水準・市況動向等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第119期	第120期	第121期
	2018年5月8日～ 2018年7月5日	2018年7月6日～ 2018年9月5日	2018年9月6日～ 2018年11月5日
当期分配金	50	50	50
（対基準価額比率）	0.786%	0.798%	0.808%
当期の収益	7	8	8
当期の収益以外	42	41	41
翌期繰越分配対象額	909	868	826

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

### <ユーロ・ソブリン・オープン>

#### ◎今後の運用方針

- ・引き続き、ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券を主要投資対象として運用を行います。マザーファンドの組入比率を高位に保つ方針です。

### <ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド>

#### ◎運用環境の見通し

- ・当面の欧州長期金利は、もみ合う展開が想定されます。欧州では、今後も潜在成長率以上の成長が期待される一方で、コアのインフレ圧力は抑制された状況が続くものと考えられます。ECBは、資産購入に伴うバランスシートの拡大を2018年末に終了する見通しを示したものの、現在の主要政策金利を少なくとも2019年夏まで維持することや満期が到来した債券などの再投資を当面続ける方針を示していることなどから、債券市場の需給環境は引き続き良好なことが見込まれます。  
また、当面のイギリス長期金利は概ねもみ合う展開が想定されます。イギリスでは、EUとの離脱交渉が長引いており、EUと将来関係に関する合意なしに離脱に陥るリスクが懸念されている状況です。こうした環境下、BOEは、当面、金融政策を据え置くことが見込まれますが、今後の金融政策はEU離脱交渉の動向に左右されるものと考えます。
- ・為替市場では、ユーロ圏の景気は、足もとでは下振れへの警戒感が残存しているものの、堅調な内需などを背景に概ね底堅く推移していることなどから、ユーロは対円で概ねもみ合う展開が想定されます。また、英ポンドについては、EU離脱交渉の動向などを背景に、対円で概ねもみ合う展開が想定されます。

#### ◎今後の運用方針

##### 国別資産配分

- ・現行の方針を基本に、各国の景気動向や財政状況、政治動向、政策対応などを重視した国・銘柄選別に注力します。
- ・ソブリン債以外では、事業債に関しては取り巻く環境等を勘案し、ウェイトを調整する方針です。

##### デュレーション（金利感応度）

- ・前記の運用環境の見通しに基づき、長期金利への影響が大きい景気その他の諸条件を考慮し、デュレーションなどのコントロールを行います。

##### 為替取引

- ・引き続き、今後の為替動向を見極め、機動的にポジションを構築していく方針です。

##### 信用格付

- ・引き続き、投資環境を見極め、信用格付けの高い銘柄を中心に組み入れていく方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年 5 月 8 日～2018年11月 5 日)

項 目	第119期～第121期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a)信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率× (作成期中の日数÷年間日数)
( 投 信 会 社 )	(22)	(0.350)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(12)	(0.189)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 2 )	(0.027)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	3	0.048	(b)その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 3 )	(0.045)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
( 監 査 費 用 )	( 0 )	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
( そ の 他 )	( 0 )	(0.001)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	39	0.614	
作成期中の平均基準価額は、6,285円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2018年 5 月 8 日～2018年11月 5 日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第119期～第121期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド	千口 13,764	千円 30,787	千口 43,749	千円 97,877

## ○利害関係人との取引状況等

(2018年5月8日～2018年11月5日)

## 利害関係人との取引状況

&lt;ユーロ・ソブリン・オープン&gt;

該当事項はございません。

&lt;ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド&gt;

区 分	第119期～第121期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替先物取引	1,436	313	21.8	1,436	329	22.9
為替直物取引	203	12	5.9	283	13	4.6

平均保有割合 98.9%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

## ○組入資産の明細

(2018年11月5日現在)

## 親投資信託残高

銘 柄	第118期末	第121期末	
	口 数	口 数	評 価 額
ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド	千口 670,838	千口 640,853	千円 1,422,951

## ○投資信託財産の構成

(2018年11月5日現在)

項 目	第121期末	
	評 価 額	比 率
ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド	千円 1,422,951	% 98.7
コール・ローン等、その他	18,677	1.3
投資信託財産総額	1,441,628	100.0

(注) ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産 (1,420,341千円) の投資信託財産総額 (1,431,797千円) に対する比率は99.2%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=113.23円	1 ユーロ=129.01円	1 イギリスポンド=147.18円	1 スウェーデンクローネ=12.51円
1 ボーランドズロチ=29.95円			

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第119期末	第120期末	第121期末
	2018年7月5日現在	2018年9月5日現在	2018年11月5日現在
	円	円	円
(A) 資産	1,499,104,156	1,465,641,194	1,441,628,289
コール・ローン等	19,647,952	18,873,201	18,676,841
ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド(評価額)	1,478,019,007	1,446,767,993	1,422,951,448
未収入金	1,437,197	—	—
(B) 負債	16,633,413	14,529,445	14,398,092
未払収益分配金	11,745,780	11,668,533	11,631,153
未払解約金	2,135,758	—	—
未払信託報酬	2,741,415	2,850,045	2,756,423
未払利息	34	33	33
その他未払費用	10,426	10,834	10,483
(C) 純資産総額(A-B)	1,482,470,743	1,451,111,749	1,427,230,197
元本	2,349,156,064	2,333,706,680	2,326,230,604
次期繰越損益金	△ 866,685,321	△ 882,594,931	△ 899,000,407
(D) 受益権総口数	2,349,156,064口	2,333,706,680口	2,326,230,604口
1万円当たり基準価額(C/D)	6,311円	6,218円	6,135円

## ○損益の状況

項 目	第119期	第120期	第121期
	2018年5月8日～ 2018年7月5日	2018年7月6日～ 2018年9月5日	2018年9月6日～ 2018年11月5日
	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 600	△ 644	△ 607
支払利息	△ 600	△ 644	△ 607
(B) 有価証券売買損益	△ 11,427,000	△ 7,123,867	△ 4,865,983
売買益	162,512	285,735	192,361
売買損	△ 11,589,512	△ 7,409,602	△ 5,058,344
(C) 信託報酬等	△ 2,751,841	△ 2,860,879	△ 2,766,906
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 14,179,441	△ 9,985,390	△ 7,633,496
(E) 前期繰越損益金	△ 190,873,397	△ 214,167,088	△ 233,762,277
(F) 追加信託差損益金	△ 649,886,703	△ 646,773,920	△ 645,973,481
(配当等相当額)	( 84,039,631)	( 84,187,465)	( 84,567,063)
(売買損益相当額)	(△733,926,334)	(△730,961,385)	(△730,540,544)
(G) 計 (D + E + F)	△ 854,939,541	△ 870,926,398	△ 887,369,254
(H) 収益分配金	△ 11,745,780	△ 11,668,533	△ 11,631,153
次期繰越損益金 (G + H)	△ 866,685,321	△ 882,594,931	△ 899,000,407
追加信託差損益金	△ 649,886,703	△ 646,773,920	△ 645,973,481
(配当等相当額)	( 84,048,095)	( 84,198,569)	( 84,576,996)
(売買損益相当額)	(△733,934,798)	(△730,972,489)	(△730,550,477)
分配準備積立金	129,499,546	118,371,827	107,774,216
繰越損益金	△ 346,298,164	△ 354,192,838	△ 360,801,142

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## &lt;注記事項&gt;

① 作成期首 (前作成期末) 元本額 2,364,323,354円

    作成期中追加設定元本額 36,353,753円

    作成期中一部解約元本額 74,446,503円

    また、1口当たり純資産額は、作成期末0.6135円です。

② 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は899,000,407円です。

③ 分配金の計算過程

項 目	2018年5月8日～ 2018年7月5日	2018年7月6日～ 2018年9月5日	2018年9月6日～ 2018年11月5日
費用控除後の配当等収益額	1,782,023円	2,037,260円	2,019,266円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円	－円	－円
収益調整金額	84,048,095円	84,198,569円	84,576,996円
分配準備積立金額	139,463,303円	128,003,100円	117,386,103円
当ファンドの分配対象収益額	225,293,421円	214,238,929円	203,982,365円
1万口当たり収益分配対象額	959円	918円	876円
1万口当たり分配金額	50円	50円	50円
収益分配金金額	11,745,780円	11,668,533円	11,631,153円

## ○分配金のお知らせ

	第119期	第120期	第121期
1万円当たり分配金（税込み）	50円	50円	50円

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

### ◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

### 【お知らせ】

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

## ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド

《第177期》決算日2018年6月5日      《第180期》決算日2018年9月5日  
 《第178期》決算日2018年7月5日      《第181期》決算日2018年10月5日  
 《第179期》決算日2018年8月6日      《第182期》決算日2018年11月5日

[計算期間：2018年5月8日～2018年11月5日]

「ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド」は、11月5日に第182期の決算を行いました。  
 以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第177期～第182期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	高水準かつ安定的なインカム・ゲインの確保とともに信託財産の成長をはかることを目的として運用を行います。
主 要 運 用 対 象	EU加盟国の信用度の高い（A格以上）公社債
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資は、制限を設けません。



○最近30期の運用実績

決算期	基準価額		FTSE 欧州世界国債 インデックス (円ベース)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	円	騰落率 %	騰落率 %	騰落率 %			
153期(2016年6月6日)	21,291	△0.0	610.30	0.1	97.5	—	1,825
154期(2016年7月5日)	20,250	△4.9	584.22	△4.3	97.4	—	1,707
155期(2016年8月5日)	20,136	△0.6	579.49	△0.8	97.3	—	1,700
156期(2016年9月5日)	20,747	3.0	597.34	3.1	97.2	—	1,730
157期(2016年10月5日)	20,456	△1.4	585.95	△1.9	96.5	—	1,698
158期(2016年11月7日)	20,076	△1.9	571.88	△2.4	97.0	—	1,631
159期(2016年12月5日)	20,783	3.5	599.99	4.9	96.6	—	1,692
160期(2017年1月5日)	21,142	1.7	607.19	1.2	97.3	—	1,686
161期(2017年2月6日)	20,665	△2.3	590.63	△2.7	97.1	—	1,646
162期(2017年3月6日)	20,766	0.5	594.55	0.7	96.6	—	1,628
163期(2017年4月5日)	20,511	△1.2	583.39	△1.9	97.5	—	1,605
164期(2017年5月8日)	21,416	4.4	612.50	5.0	97.7	—	1,647
165期(2017年6月5日)	21,671	1.2	617.16	0.8	98.2	—	1,633
166期(2017年7月5日)	22,026	1.6	631.96	2.4	97.9	—	1,635
167期(2017年8月7日)	22,475	2.0	643.31	1.8	97.8	—	1,656
168期(2017年9月5日)	22,571	0.4	645.17	0.3	97.9	—	1,646
169期(2017年10月5日)	22,806	1.0	653.09	1.2	97.7	—	1,667
170期(2017年11月6日)	23,004	0.9	661.53	1.3	97.2	—	1,628
171期(2017年12月5日)	23,281	1.2	669.84	1.3	97.5	—	1,642
172期(2018年1月5日)	23,631	1.5	676.29	1.0	97.8	—	1,642
173期(2018年2月5日)	23,419	△0.9	677.24	0.1	97.4	—	1,628
174期(2018年3月5日)	22,407	△4.3	642.91	△5.1	97.5	—	1,541
175期(2018年4月5日)	22,902	2.2	660.36	2.7	97.7	—	1,575
176期(2018年5月7日)	22,561	△1.5	651.77	△1.3	97.1	—	1,532
177期(2018年6月5日)	22,260	△1.3	639.39	△1.9	97.8	—	1,507
178期(2018年7月5日)	22,389	0.6	644.39	0.8	97.6	—	1,497
179期(2018年8月6日)	22,229	△0.7	639.50	△0.8	97.3	—	1,484
180期(2018年9月5日)	22,279	0.2	637.27	△0.3	97.4	—	1,465
181期(2018年10月5日)	22,460	0.8	643.25	0.9	97.4	—	1,475
182期(2018年11月5日)	22,204	△1.1	636.17	△1.1	96.9	—	1,430

(注) FTSE 欧州世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、欧州主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額比率で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		F T S E 欧州世界国債 インデックス (円ベース)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落 率	騰 落 率				
第177期	(期 首) 2018年5月7日	円 22,561	% —	651.77	% —	% 97.1	% —
	5月末	21,937	△2.8	626.70	△3.8	97.6	—
	(期 末) 2018年6月5日	22,260	△1.3	639.39	△1.9	97.8	—
第178期	(期 首) 2018年6月5日	22,260	—	639.39	—	97.8	—
	6月末	22,162	△0.4	636.53	△0.4	97.5	—
	(期 末) 2018年7月5日	22,389	0.6	644.39	0.8	97.6	—
第179期	(期 首) 2018年7月5日	22,389	—	644.39	—	97.6	—
	7月末	22,417	0.1	645.27	0.1	97.5	—
	(期 末) 2018年8月6日	22,229	△0.7	639.50	△0.8	97.3	—
第180期	(期 首) 2018年8月6日	22,229	—	639.50	—	97.3	—
	8月末	22,346	0.5	642.22	0.4	96.7	—
	(期 末) 2018年9月5日	22,279	0.2	637.27	△0.3	97.4	—
第181期	(期 首) 2018年9月5日	22,279	—	637.27	—	97.4	—
	9月末	22,643	1.6	653.52	2.5	97.8	—
	(期 末) 2018年10月5日	22,460	0.8	643.25	0.9	97.4	—
第182期	(期 首) 2018年10月5日	22,460	—	643.25	—	97.4	—
	10月末	22,133	△1.5	632.60	△1.7	97.1	—
	(期 末) 2018年11月5日	22,204	△1.1	636.17	△1.1	96.9	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

### ●当作成期中の基準価額等の推移について

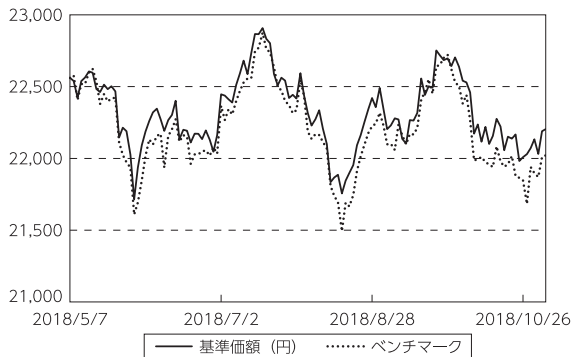
#### ◎基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ1.6%の下落となりました。

#### ◎ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率(−2.4%)を0.8%上回りました。

基準価額等の推移



(注) ベンチマークは作成期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

## ●投資環境について

### ◎欧州債券市況

ドイツやイギリスの長期金利は低下しました。ドイツやイギリスの長期金利は、2018年5月に、イタリアで政局不安が高まったことを受けて低下しました。その後、8月中旬にかけては、8月上旬にイングランド銀行(BOE)が利上げを実施したものの、ドイツやイギリスの長期金利は概ねもみ合いで推移しましたが、8月下旬以降、発表されたドイツの景況感指数が市場予想を上回ったことや、欧米間の貿易摩擦への懸念の後退を受けたドイツ等の企業センチメントの回復などを背景に、ドイツやイギリスの長期金利は上昇に転じました。10月以降は、米中貿

易摩擦懸念等を背景にグローバルに株式市場が下落したことや、欧州の景況感指数が市場予想を下回る内容であったことなどを背景に、ドイツやイギリスの長期金利は低下に転じ、作成期を通じてみると、ドイツやイギリスの長期金利は低下しました。

### ◎為替市況

ユーロや英ポンドは対円で下落しました。ユーロや英ポンドは、2018年5月に、イタリアの政局不安を受けて、対円で下落しました。6月から7月にかけては、欧州中央銀行(ECB)高官が、インフレの上昇に対して自信を示したことや、米中間の通商問題が一層悪化すると懸念が後退したことなどを背景に、ユーロや英ポンドは対円で上昇したものの、8月には、トルコ金融市場の混乱等を背景に、ユーロや英ポンドは対円で下落しました。その後、新興国市場などのリスクセンチメントの改善などを受けて、ユーロや英ポンドは対円で上昇する局面もあったものの、10月には、グローバルな株式市場の下落による投資家のリスクセンチメント悪化などを受けて、ユーロや英ポンドは対円で下落に転じ、結果、作成期を通じてみると、ユーロや英ポンドは対円で下落しました。

### ●当該投資信託のポートフォリオについて

欧州連合(EU)加盟国の国債・政府保証債、事業債等、信用度の高い公社債(A格以上)を主要投資対象とし、これらの債券を高位に組み入れて運用を行いました。

### ◎国別資産配分

作成期を通じて、相対的に高い金利水準にあると判断したポーランドをベンチマーク比オーバーウェイトとした一方、ドイツなどを同アンダーウェイトで維持しました。また、2018年5月下旬には、イタリアの政局不安を受けて質への逃避が強まるものと判断し、スウェーデンを同中立からオーバーウェイトに変更した一方、

スペインを同オーバーウェイトから中立に変更しました。その後、イタリアの政局への過度な懸念が後退したと判断し、7月にスペインを同中立からオーバーウェイトに変更した一方、スウェーデンを同オーバーウェイトから中立に変更しました。

### ◎デュレーション（金利感応度）

- ・ファンド全体のデュレーションは、作成期を通じてベンチマーク比中立としました。

#### ※デュレーション

「金利変動に対する債券価格の変動性」を示すもので、債券はデュレーションが大きいほど、金利変動に対する価格の変動が大きくなる傾向があります。

### ◎為替取引

- ・作成期首は、イギリスのEUからの強硬離脱に対する懸念が和らいだことなどを背景に、3.9%程度の英ポンド買い、1.7%程度のユーロ買いとした一方、5.6%程度のポーランドズロチ売りとしました。
- ・作成期末は、景気の底堅い推移が見込まれることなどから、4.1%程度のユーロ及び0.7%程度のノルウェークローネ買い、EU離脱を巡る不透明感などから1.0%程度の英ポンド売り、3.9%程度のポーランドズロチ売りとしました。

### ◎信用格付

- ・信用度の高いA格以上の公社債を主要投資対象としています。
- ・前記の運用を行った結果、債券の利子収入を享受したことなどはプラスに寄与したものの、ユーロや英ポンドが対円で下落したことや、スペインの金利が上昇したことなどがマイナスに影響し、基準価額は下落しました。

### ●当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・基準価額は当作成期首に比べ、1.6%の下落となり、ベンチマークであるFTSE欧州世界国債

インデックス（円ベース）の騰落率（-2.4%）を0.8%上回りました。

- ・作成期を通じてイタリア国債のドイツ国債に対する金利スプレッド（利回り格差）が拡大したなか、作成期を通じてイタリアを非保有としたことなどがプラスに寄与しました。
- ・2018年5月に、スペイン国債のドイツ国債に対する金利スプレッドが拡大したなか、スペインをベンチマーク比オーバーウェイトとしていたことなどがマイナスに影響しました。

## ○今後の運用方針

### ◎運用環境の見通し

- ・当面の欧州長期金利は、もみ合う展開が想定されます。欧州では、今後も潜在成長率以上の成長が期待される一方で、コアのインフレ圧力は抑制された状況が続くものと考えます。ECBは、資産購入に伴うバランスシートの拡大を2018年末に終了する見通しを示したものの、現在の主要政策金利を少なくとも2019年夏まで維持することや満期が到来した債券などの再投資を当面続ける方針を示していることなどから、債券市場の需給環境は引き続き良好なことが見込まれます。

また、当面のイギリス長期金利は概ねもみ合う展開が想定されます。イギリスでは、EUとの離脱交渉が長引いており、EUと将来関係に関する合意なしに離脱に陥るリスクが懸念されている状況です。こうした環境下、BOEは、当面、金融政策を据え置くことが見込まれますが、今後の金融政策はEU離脱交渉の動向に左右されるものと考えます。

- ・為替市場では、ユーロ圏の景気は、足もとでは下振れへの警戒感が残存しているものの、堅調な内需などを背景に概ね底堅く推移していることなどから、ユーロは対円で概ねもみ合う展開が想定されます。また、英ポンドについては、EU離脱交渉の動向などを背景に、対円で概ねもみ合う展開が想定されます。

◎今後の運用方針

国別資産配分

- ・ 現行の方針を基本に、各国の景気動向や財政状況、政治動向、政策対応などを重視した国・銘柄選別に注力します。
- ・ ソブリン債以外では、事業債に関しては取り巻く環境等を勘案し、ウェイトを調整する方針です。

デュレーション

- ・ 前記の運用環境の見通しに基づき、長期金利への影響が大きい景気その他の諸条件を考慮し、デュレーションなどのコントロールを行います。

為替取引

- ・ 引き続き、今後の為替動向を見極め、機動的にポジションを構築していく方針です。

信用格付

- ・ 引き続き、投資環境を見極め、信用格付けの高い銘柄を中心に組み入れていく方針です。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年5月8日～2018年11月5日)

項 目	第177期～第182期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 10	% 0.046	(a)その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数  有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用  信託事務の処理等に要するその他諸費用
( 保 管 費 用 )	(10)	(0.045)	
( そ の 他 )	( 0 )	(0.001)	
合 計	10	0.046	
作成期中の平均基準価額は、22,319円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年5月8日～2018年11月5日)

公社債

			第177期～第182期	
			買付額	売付額
外	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	国債証券	4,881	4,127
	フランス	国債証券	3,021	2,986
	オランダ	国債証券	256	153
		社債券	—	171
	スペイン	国債証券	5,851	6,160
	ベルギー	国債証券	472	438
	アイルランド	国債証券	—	103
	イギリス	社債券	—	—
		国際機関	特殊債券	—
国	イギリス	国債証券	千イギリスポンド 463	千イギリスポンド 634
	スウェーデン	国債証券	千スウェーデンクローネ 5,160	千スウェーデンクローネ 5,272
		特殊債券	—	551
	ポーランド	国債証券	千ポーランドズロチ 3,103	千ポーランドズロチ 4,328

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ( )内は償還等による増減分です。

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2018年5月8日～2018年11月5日)

利害関係人との取引状況

区 分	第177期～第182期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替先物取引	1,436	313	21.8	1,436	329	22.9
為替直物取引	203	12	5.9	283	13	4.6

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2018年11月5日現在)

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第182期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千ユーロ	千ユーロ	千円	%	%	%	%	%
ユーロ								
ドイツ	1,250	1,424	183,829	12.9	—	8.2	2.8	1.8
フランス	2,380	2,571	331,718	23.2	—	11.1	8.5	3.6
オランダ	400	440	56,886	4.0	—	0.9	3.1	—
スペイン	2,410	2,458	317,234	22.2	—	14.1	6.7	1.4
ベルギー	440	437	56,407	3.9	—	2.5	0.5	0.9
アイルランド	200	199	25,682	1.8	—	1.8	—	—
国際機関	1,000	1,133	146,214	10.2	—	10.2	—	—
イギリス	千イギリスポンド 925	千イギリスポンド 1,268	186,752	13.1	—	12.0	1.0	—
スウェーデン	千スウェーデンクローネ 900	千スウェーデンクローネ 952	11,918	0.8	—	0.1	—	0.7
ポーランド	千ポーランドズロチ 2,300	千ポーランドズロチ 2,327	69,719	4.9	—	0.2	3.5	1.1
合 計	—	—	1,386,364	96.9	—	61.2	26.2	9.5

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。



## (B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			第182期末				償還年月日
			利率	額面金額	評価額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
ドイツ	国債証券	0 SCHATS 190315	—	200	200	25,869	2019/3/15
		0.5 BUND 280215	0.5	220	222	28,704	2028/2/15
		1.75 BUND 240215	1.75	200	219	28,372	2024/2/15
		2.25 BUND 210904	2.25	290	312	40,366	2021/9/4
		2.5 BUND 460815	2.5	300	405	52,334	2046/8/15
		5.5 BUND 310104	5.5	40	63	8,182	2031/1/4
フランス	国債証券	0 O. A. T 190225	—	90	90	11,635	2019/2/25
		0.75 O. A. T 280525	0.75	490	491	63,344	2028/5/25
		1.25 O. A. T 340525	1.25	200	201	26,037	2034/5/25
		1.75 O. A. T 390625	1.75	180	191	24,668	2039/6/25
		2 O. A. T 480525	2.0	320	345	44,601	2048/5/25
		3 O. A. T 220425	3.0	100	111	14,373	2022/4/25
		4.25 O. A. T 231025	4.25	400	485	62,583	2023/10/25
	普通社債券	1.375 GDF SUEZ 200519	1.375	300	307	39,631	2020/5/19
	4.25 BPCE SA 230206	4.25	300	347	44,843	2023/2/6	
オランダ	国債証券	0.5 NETH GOVT 260715	0.5	100	101	13,099	2026/7/15
	普通社債券	4.125 ABN AMRO BA 220328	4.125	300	339	43,786	2022/3/28
スペイン	国債証券	0.25 SPAIN GOVT 190131	0.25	150	150	19,385	2019/1/31
		0.35 SPAIN GOVT 230730	0.35	440	435	56,229	2023/7/30
		0.75 SPAIN GOVT 210730	0.75	300	306	39,536	2021/7/30
		1.4 SPAIN GOVT 280430	1.4	640	633	81,787	2028/4/30
		1.95 SPAIN GOVT 300730	1.95	320	325	41,977	2030/7/30
		2.75 SPAIN GOVT 241031	2.75	300	333	43,014	2024/10/31
		2.9 SPAIN GOVT 461031	2.9	260	273	35,303	2046/10/31
ベルギー	国債証券	0.2 BEL GOVT 231022	0.2	60	60	7,801	2023/10/22
		0.8 BEL GOVT 280622	0.8	80	79	10,302	2028/6/22
		1.6 BEL GOVT 470622	1.6	200	193	24,981	2047/6/22
		3 BEL GOVT 190928	3.0	100	103	13,321	2019/9/28
アイルランド	国債証券	0.9 IRISH GOVT 280515	0.9	150	148	19,169	2028/5/15
		1.7 IRISH GOVT 370515	1.7	50	50	6,513	2037/5/15
国際機関	特殊債券	2.125 EFSF 240219	2.125	400	439	56,711	2024/2/19
		2.5 EUROPEAN U 271104	2.5	600	693	89,502	2027/11/4
小計						1,117,972	
イギリス				千イギリスポンド	千イギリスポンド		
	国債証券	0.75 GILT 230722	0.75	100	98	14,493	2023/7/22
		1.625 GILT 281022	1.625	70	70	10,422	2028/10/22
		4.25 GILT 461207	4.25	455	685	100,832	2046/12/7
	特殊債券	6 EIB 281207	6.0	300	414	61,004	2028/12/7
小計						186,752	
スウェーデン				千スウェーデンクローネ	千スウェーデンクローネ		
	国債証券	3.5 SWD GOVT 390330	3.5	100	138	1,734	2039/3/30
		4.25 SWD GOVT 190312	4.25	800	814	10,184	2019/3/12
小計						11,918	
ポーランド				千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ		
	国債証券	2.5 POLAND 230125	2.5	1,150	1,156	34,635	2023/1/25
		2.75 POLAND 280425	2.75	100	96	2,885	2028/4/25

銘柄	第182期末					
	利率	額面金額	評価額		償還年月日	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
ポーランド	%	千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ	千円		
国債証券	POLAND 190425	—	550	547	16,388	2019/4/25
特殊債券	4.25 EIB 221025	4.25	500	527	15,810	2022/10/25
小計					69,719	
合計					1,386,364	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

## ○投資信託財産の構成

(2018年11月5日現在)

項目	第182期末	
	評価額	比率
公社債	1,386,364	96.8%
コール・ローン等、その他	45,433	3.2%
投資信託財産総額	1,431,797	100.0%

(注) 作成期末における外貨建純資産 (1,420,341千円) の投資信託財産総額 (1,431,797千円) に対する比率は99.2%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=113.23円	1 ユーロ=129.01円	1 イギリスポンド=147.18円	1 スウェーデンクローネ=12.51円
1 ポーランドズロチ=29.95円			

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項目	第177期末	第178期末	第179期末	第180期末	第181期末	第182期末
	2018年6月5日現在	2018年7月5日現在	2018年8月6日現在	2018年9月5日現在	2018年10月5日現在	2018年11月5日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	1,937,978,156	1,646,843,956	1,815,209,991	1,539,600,109	1,645,553,583	1,571,461,461
コール・ローン等	25,202,552	23,376,335	24,906,282	23,074,047	13,436,277	31,271,921
公社債(評価額)	1,475,119,748	1,461,511,654	1,444,410,142	1,427,996,266	1,436,688,381	1,386,364,086
未収入金	425,873,481	148,507,733	331,138,706	73,610,825	177,825,684	140,405,670
未収利息	7,509,041	7,499,647	8,968,213	10,082,016	12,634,746	10,948,431
前払費用	4,259,990	5,935,225	5,773,298	4,823,544	4,954,857	2,457,959
差入委託証拠金	13,344	13,362	13,350	13,411	13,638	13,394
(B) 負債	430,068,688	149,834,812	330,489,130	73,936,857	170,325,722	140,984,035
未払金	429,831,378	148,396,732	330,359,066	73,936,185	170,255,081	140,983,208
未払解約金	237,298	1,438,063	130,048	652	70,632	808
未払利息	12	17	16	20	9	19
(C) 純資産総額(A-B)	1,507,909,468	1,497,009,144	1,484,720,861	1,465,663,252	1,475,227,861	1,430,477,426
元本	677,411,037	668,649,873	667,910,927	657,869,167	656,814,372	644,229,940
次期繰越損益金	830,498,431	828,359,271	816,809,934	807,794,085	818,413,489	786,247,486
(D) 受益権総口数	677,411,037口	668,649,873口	667,910,927口	657,869,167口	656,814,372口	644,229,940口
1万口当たり基準価額(C/D)	22,260円	22,389円	22,229円	22,279円	22,460円	22,204円

○損益の状況

項 目	第177期	第178期	第179期	第180期	第181期	第182期
	2018年5月8日～ 2018年6月5日	2018年6月6日～ 2018年7月5日	2018年7月6日～ 2018年8月6日	2018年8月7日～ 2018年9月5日	2018年9月6日～ 2018年10月5日	2018年10月6日～ 2018年11月5日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	2,263,840	2,380,894	2,535,602	2,406,547	2,414,110	2,438,387
受取利息	2,264,464	2,388,719	2,536,244	2,407,085	2,414,616	2,438,777
支払利息	△ 624	△ 7,825	△ 642	△ 538	△ 506	△ 390
(B) 有価証券売買損益	△ 22,667,475	6,419,996	△ 12,893,666	1,051,943	9,799,205	△ 19,233,010
売買益	12,231,922	14,671,553	3,408,298	11,594,299	32,798,359	11,993,419
売買損	△ 34,899,397	△ 8,251,557	△ 16,301,964	△ 10,542,356	△ 22,999,154	△ 31,226,429
(C) 保管費用等	△ 68,259	△ 80,466	△ 101,485	△ 162,921	△ 130,674	△ 142,720
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 20,471,894	8,720,424	△ 10,459,549	3,295,569	12,082,641	△ 16,937,343
(E) 前期繰越損益金	853,310,178	830,498,431	828,359,271	816,809,934	807,794,085	818,413,489
(F) 追加信託差損益金	3,918,951	1,391,731	4,328,843	1,672,327	4,306,428	1,405,957
(G) 解約差損益金	△ 6,258,804	△ 12,251,315	△ 5,418,631	△ 13,983,745	△ 5,769,665	△ 16,634,617
(H) 計(D+E+F+G)	830,498,431	828,359,271	816,809,934	807,794,085	818,413,489	786,247,486
次期繰越損益金(H)	830,498,431	828,359,271	816,809,934	807,794,085	818,413,489	786,247,486

(注) (B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ①作成期首（前作成期末）元本額 679,346,826円  
 作成期中追加設定元本額 13,764,907円  
 作成期中一部解約元本額 48,881,793円  
 また、1口当たり純資産額は、作成期末2,2204円です。
- ②作成期末における元本の内訳（当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額）  
 ユーロ・ソブリン・オープン 640,853,652円  
 ユーロ・ソブリン・オープン V A（適格機関投資家専用） 3,376,288円  
 合計 644,229,940円

【お知らせ】

- ①当社ホームページアドレス変更に伴う記載変更を行うため電子公告のアドレスを変更し、信託約款に所要の変更を行いました。  
 （変更前（旧）<http://www.am.mufg.jp/> → 変更後（新）<https://www.am.mufg.jp/>）  
 （2018年1月1日）
- ②本資料内における旧シティ債券インデックスは、ブランド変更に伴い、F T S E 債券インデックスの名称に変更しています。